

「先端研究開発を考えるオンライン探究学習」2026年9-10月実施計画

1. 目的

- 高校生の先端研究開発への関心を高めるとともに、研究開発をめぐる公共的課題、とくに ELSI と RRI に焦点をあて、科学者と高校生が対話する場を設定する。
- 国家プロジェクト SIP (戦略的イノベーション創造プログラム) の教育現場へのアウトリーチを促進させる。また、SIP の研究課題間の連携を実現する。
- 2026年8月と9月に第1次「海洋資源」、10月と12月に第2次「スマート防災」と連携し、計4回の授業を通して、科学技術の政策・成果に対する探究力を養う。

2. 実施内容

- 3つの高等学校と先端的な研究開発を進める拠点 (JAMSTEC, 地球深部探査船「ちきゅう」), 及び教科書出版社をオンラインで結んで、遠隔合同授業を行う。
- 遠隔授業の全体進行は、大学の担当者 (T1) が行う。各教室での指導は、各校の総探担任者等 (T2) が行う。高校生自らファシリテートするのは差し支えない。
- 参加校には、広島大学よりサポートスタッフ (T3) を派遣し、環境設営、授業運営支援、教師・生徒の ICT の活用支援等を行う。
- 授業では、個人端末を使って生徒が意見表明する機会を設ける。加えて、生成 AI を活用した遠隔授業支援システムを活用して、学級間の意見交流を促進する。

3. 第1次の授業の日時および参加予定校

- 2026年8月25日 (火) 15:10~16:30, 9月24日 (木) 15:10~16:30
- 高等学校1・2年生 計3校 (47名の予定)
 - ・広島県立広島国泰寺高校17名 (1年生6名, 2年生11名)
 - ・長崎県立佐世保南高校16名 (文理探究科1年生16名)
 - ・熊本県立済々黉高校14名 (3年生2名, 2年生11名, 1年生1名)



左:横須賀の国立研究開発法人
海洋研究開発機構
右:清水港沖の地球深部探査船
「ちきゅう」→台風接近のため、
中継を断念

4. 単元名および目標

- 単元名 「レアアースについて、高校生は何を知るべきか・考えるべきか?—教科書を書き足そう・書き換えようプロジェクト—」
- オンライン学習の単元目標

【知識・技能】	・レアアースの開発動向について、具体的な成果や課題について理解できる。 ・上の内容について、論文や記事・動画等から読み取り、ポイントを抽出できる。
【思考・判断・表現】	・海洋 SIP の取組の意義や課題を、技術開発、経済安全保障、採算可能性、環境影響などの視点から多面的・多角的に批評できる。 ・高校生として、レアアースについて知るべきこと・考えるべきことを選択し、教科書コラムに表現できる。また、それを学ぶべき理由を説明できる。
【主体的に学習に取り組む態度】	・最先端の研究開発をめぐる論点について、他者の意見を傾聴したり、自らの意見を主張したり、また多様な意見を調整しながら、市民知の生成 (教科書コラムづくり) に参加しようとしている。

○ 本時の目標

- ・1/2時: レアアースの採掘の意義や課題を、市民知 (みんなが学ぶべきこと) の視点から評価し、表現できる。【思考・判断・表現】
- ・2/2時: レアアースに関する教科書コラムを、科学者、高校教師、高校生が協働して作成し、提案しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
- ・特色: 高校生が国家プロジェクト (海洋 SIP) の政策・成果を評価するとともに、科学者の RRI (Responsible Research & Innovation) に参画、協力する探究型の授業。

・赤色:個人端末の活用場面 ・黄色:個別学級の指導場面 ・緑色:学校間の交流場面 ・青色:中継・動画
 ・★:AI学習支援アプリを活用した意思表示や遠隔教室の声の収音・分析場面

7-1. 授業展開(第1次 第1時)

T1 (大学教員) の指示・発問等	生徒の答えの例	T2 (学校教員) の指導・支援等	T3 (スタッフ) の支援・活動等
<導入:レアアースを教科書化する> 1. 本授業の目的を説明する。(10) (1) 海洋研究者の RRI (responsible research and innovation) に, 私たち高校生が協力します。 (2) JAMSTEC の皆さん。昨年度の高校生の声は, いかがでしたか? (3) 生徒の皆さん。学校でレアアースについて習ったことある? 東京書籍の編集者さん。教科書で扱っていますか?	・研究者の研究開発過程に市民の感覚や意見を取り入れて社会的責任を果たすのが, RRI。 ・JAMSTEC は, 高校生の指摘で広報の大切さを認識。レアアース採掘について積極的に広報に努めた。 ・現行教科書での扱いはレア。地理(鉱産資源)と公共(国際関係), 化学(無機物質)で限定的な扱いである。	・T1 の解説に注目させる。 ・JAMSTEC の解説に注目させる。 ・生徒に尋ねる→経験を発表させる。 ・出版社の解説に注目させる	・JAMSTEC をスポットライト ・音声/映像状態のチェック ・指名された学級をスポットライト ・東京書籍をスポットライト ・音声/映像状態のチェック
【学習課題】 来年度入学の高校生に向けた緊急企画。レアアースを扱った「教科書」の「見開き半ページ(1頁)」のコラムをまとめよう! (※ JAMSTEC の皆さん, 高校生の成果をホームページで紹介していただくことできませんか? → OK です!)			
<展開:教育内容としてのレアアース> 3. 中継クイズ「ちきゅう」を知る。(15) (1) この船を知ってる? どんな船ですか? (2) クイズ: 答え合わせは JAMSTEC ①この船から穴を掘った最高記録。海底下何 m か? 500m, 3000m, 7000m ②この船にスクリーが6つも付いているのはなぜ? ③この船のドリルは, 探査船では世界で唯一特殊なもの。どこが凄いのか? (3) 学校にレアアース泥が届いていますね。それも含めて, JAMSTEC の科学者への質問タイム。質問を出そう! (4) ここまでの学習でコラムに載せたいことがあるか? AI アプリに入力しよう。★	・ヘリ甲板や120mのやぐらが特徴。南鳥島沖でのレアアース泥の掘削でも活躍した。母港は静岡県の清水港。 ・3000m。将来の目標は7000m? ・その場に止まり続けるため。波があっても数mの範囲に固定できる。 ・ライザー掘削。掘りながら, 土や泥を吸い上げることができる。 【質問の例】 ・南鳥島沖の泥に, どのくらいのレアアースが含まれているか? 純度は高い? 【コラムに載せたいことの例】 ・ちきゅうの活躍や特殊な探索技術。 ・レアアース掘削の成果。用途など。	・写真に注目させる。 ・三択のいずれかに手を挙げさせる。 ・回答したい生徒をカメラの前へ。 ・回答したい生徒をカメラの前へ。 ・まずペアで質問事項を出させる。 ・各校の代表生徒がカメラの前へ。 ・アプリに, 単語で回答させる。 ・AIの分析結果に注目させる。	・「ちきゅう」からの中継に代えて, 写真で対応。各クイズの答え合わせに対応した写真(パネル)を提示する。 ・ギャラリービュー, JAMSTEC をスポットライト ・音声/映像状態のチェック ・ギャラリービュー, JAMSTEC をスポットライト ・音声/映像状態のチェック ・ギャラリービュー, JAMSTEC をスポットライト ・音声/映像状態のチェック ・指名された学級&JAMSTEC をスポットライト ・音声/映像状態のチェック ・AI アプリ活用①:ワードクラウド 扱いたい事項を入力→結果を分析

4. 予習成果発表:報道・論文を分析する 高校生に対する「推しの内容」を各校の代表に紹介してもらおう。(10) (1) 記事を簡潔にまとめよう。(済) (2) とくに高校生が知るべき・考えるべきことは何か? なぜそれを「推す」のか? (佐), (済), (佐) (国), (済), (国) (3) ここまでの学習でコラムに載せたいことがあるか? AI アプリに入力しよう。★ 5. 各教科の教科書(コラム)に載せるべきことを書き出そう。(40) (1) アンケート: 教科書(コラム)には、何を基準に(何を優先して)載せるべきことを決めるべきか?(5) ★ A: 最新の科学的な知見を入れる B: 社会にとっての評価・判断を入れる C: 私たちにとっての論点・争点を入れる (2) グループ活動: 教科・科目に分かれて教科書(コラム)の原案を作ろう(25)。 ①ABCの各観点から「これぞ載せるべき点」を出し合い、箇条書きにしよう。 ②載せるべき点の重なり(共通の関心)を見つけて、コラムの「テーマ」を決めよう。 (3) 作成したスライドを各グループ1分以内で発表しよう(10)。	【記事の主要テーマ】 ・レアアースとは何か(基礎知識) ・なぜ南鳥島にあるのか(地球科学) ・どう採掘するのか(技術) ・本当に利益が出るか(経済) ・中国依存は減らせるのか(安全保障) ・採掘してよいのか(環境・倫理) ・日本はどうすべきか(政策) 【コラムに載せたいことの例】 ・上の記事の内容 ・編集委員による紙面づくりでは、 A: 情報を拡充, アップデートする (…の動き, …な発見があります) B: 国や社会の行く末を指し示す (…は大切です。…に気を付ける) C: 生徒に思考や議論を促す (…はなぜだろう? …してみよう!) を考えている。 ・地歴科(地理)では、資源の分布、海底地形、EEZ、産出量の比較など。 ・地歴科(歴史)では、20世紀の資源開発と紛争解決史など(クウェート、南シナ海、北海、グリーンランドなど) ・公民科(公共)では、安全保障、環境保全、国家予算の使い方など。 ・理科(物化生地)では、元素の特性・永久磁石、安全性、海洋地質の構造、深海探査計画など。	・事前指名された生徒はカメラの前へ。 ・事前指名された生徒はカメラの前へ。 ・アプリに、単語で回答させる。 ・AIの分析結果に注目させる。 ・アプリに回答させる。 ・AIの分析結果に注目させる。 ・広大側で、事前課題のレポート内容に基づいて、生徒を7グループ(例:地理、日本史・公共、家庭、地学、化学・生物、国語・英語など)に分ける。 ・生徒は、各自PCをブレイクアウトルームに接続する(イヤホン・マイク必須)。 ・各ルームには、①広大ファシリテータ、②当該教科の高校教員、③JAMSTEC関係者を配置。高校生と連携して、スライド1枚の共同編集に取り組む。	・【資料1】を配布 ・指名された学級をスポットライト ・音声/映像状態のチェック ・AIアプリ活用②:ワードクラウド 扱いたい事項を入力→結果を分析・表示 ※①と②を一括して実施する可能性あり ・AIアプリ活用③:個人選択 扱いたい事項を入力→結果を分析・表示 ・生徒端末は、授業開始前からブレイクアウトルームに移動させておく。 ・ファシリテータの進行で、(2)の①②を仕上げていく。共同編集のスライドには、ポータルサイトからアクセスする。 ・AIアプリ活用④:自動音声収集 ファシリテータ端末をTSUNAGUに接続し、ブレイクアウトルームの音声を収集 ・発表者をスポットライト ・音声/映像状態のチェック
<終結:レアアースを教科書化する視点> 6. 専門家からアドバイスをもらおう。(5) (1) 教科書出版社、(2) 生成AI (3) 次回に向けて、各自、載せたいABCを具体化し、スライドに入力しておこう	・学習指導要領の改定の動きがある。 ・教科目に応じて書き分ける必要ある。 ・ABCのバランスが大事。コラムの目的によって、ABCの比率が変わってくる。	・アドバイスをメモさせる。 ・次回の授業までに、教科書(コラム)で書くべきことを下準備するように指示。	・東京書籍をスポットライト ・音声/映像状態のチェック ・AIアプリ活用④の結果表示 ・最後はギャラリービューでお別れ挨拶

7-2. 授業展開(第1次 第2時)

T1 (大学教員) の指示・発問等	生徒の答えの例	T2 (学校教員) の指導・支援等	T3 (スタッフ) の支援・活動等
<導入: RRIへの参画と教科書づくり> 1. 本授業の目的を説明する。(10) (1) 前回の学習後に提出された振り返りを紹介します。各校1名ずつ発表する。 (2) 引き続き、海洋研究者の RRI に、最新版の教科書(コラム)作成を通して、私たち高校生が協力します。	・海洋資源の存在や地震のメカニズムを解明する「ちきゅう」の活躍を伝えたい。「レアアース」の化学特性や用途を伝えたい(A アップデート重視型)。 ・特定国に依存せずにレアアースを確保する重要性や、採掘や精錬の技術を磨いて日本が資源大国になるべきことを伝えたい(B あるべき姿伝達型)。 ・採算性や環境影響の評価、貿易の在り方をめぐっては、多様な意見があり、私たちも関心をもって考えるべきことを伝えたい(C 議論活性化型)。 ・研究者の研究開発過程に市民の感覚や意見を取り入れて社会的責任を果たすのが、RRI。	・発表に注目させる。 ・本授業の目的を再度意識させる。 ・各発表が、どのような観点で振り返っているか、どのような教科書(コラム)の作成の目的をどこに求めているかに注目させたい。 ・T1 の解説に注目させる。 ・学習課題を確認する。	・指名された学級をスポットライト ・音声／映像状態のチェック
【学習課題】 来年度入学の高校生に向けた緊急企画。レアアースを扱った「教科書」の「見開き半ページ(1頁)」のコラムをまとめよう!			
<展開: 教科書コラムを作成する> 2. 教科書(コラム)に載せる「レアアース」を執筆しよう。(45) (1) レイアウトの約束事を確認する。(5) ①左: 教科・科目、現行教科書の目次の、どこの章・節に位置付けるか。 ②左: このコラムで、高校生に何を覚えてほしいか、考えてほしいか(ねらい)? ③右: コラムの①テーマ、②見出し(複数可)、③文章、④図版、⑤学習活動など。 ④文章は、生成 AI を使って書いてもよい。	・レアアースの取り上げ方は、地理・歴史、公民・政治経済、物理・化学・地学など、教科・科目の内容や系統に応じて異なる。 ・コラムの目的を、A: レアアースの最新の知識・概念を理解させたいか、B: レアアースについて私たちが取るべき態度や姿勢を伝えたいか、C: 私たち高校生が主体的に思考、判断・表現でき	・第1時と同じグループ編成を踏襲する。 ・生徒は、各自 PC をブレイクアウトルームに接続する(イヤホン・マイク必須)。 ・各ルームには、広大ファシリテータ、当該教科の高校教員、JAMSTEC 関係者を配置。高校生と連携して、スライド1枚の共同編集に取り組む。 ・他グループの作品を眺めることは奨励する(良い所は真似よう)。	・生徒端末は、授業開始前の時点からブレイクアウトルームに移動させておく。 ・ファシリテータの進行で、2の(1)(2)を進める。共同編集のスライドには、ポータルサイトからアクセスする。

(2) ファシリテータ、高校生、JAMSTEC 関係者、高校教師の四者で対話しながら、コラムを仕上げよう。(40) ★ ①最初に、誰が、どこを担当するか、分担を決めておく。 ②グループ内の1名がスライドを画面共有しながら、協働編集を行う。	るようにさせたか、どこに求めるかで、扱う内容に違いが出てくる。 ＜コラムの例＞ 1. 教科・科目 2. 今の目次の、どの章・節に位置付けるか 3. 高校生に何を知ってほしいか、何を考えてほしいか（ねらい） ①コラムのテーマ ③図版 写真、グラフ、表など ③学習活動 問い、活動例など ②見出し1 ③本文…… …………… …………… …………… ②見出し2 ③本文…… …………… …………… ……………	・生徒がブレイクアウトルームに入室できているか、大きなトラブルが起きていないか、随時モニタリングする。	
＜終結：教科書コラムを批評する＞ 7. 教科書（コラム）の閲覧会をしよう。(20) (1) 他グループのコラムで良いと思う箇所に「いいね!」のコメントを付けよう。各コラムに1個以上、コメントや質問・助言を付すこと。(10) (2) 各学校で、コラムの執筆・編集を通じて「考えさせられたこと」を話し合おう→発表しよう。(10) 8. 専門家からフィードバックをもらおう。(5) (1) 生成 AI。高校生の振り返りの中で、とくに光った発言とは! (2) JAMSTEC。高校生との対話から、これからの研究と広報に活かしたいこと! (3) 教科書出版社。高校生のコラム提案で、とくに気になったこと!	・グループによって、レアアースの評価ポイントが違った。 ・レアアースは、特定の教科・科目だけでなく、様々な分野から考える＝総合的に考察する必要性を感じた。 ・研究者と対話することで、発見や挑戦の喜びや醍醐味が理解できた。 ・国家プロジェクトの価値が分かった。 ・研究者も悩みながら、研究を進めていることが見えてきた。 ・知識を覚える立場から知識を生成する立場に立つことで、知識は複雑な判断が影響して生成されることが分かった。 ・高校生の関心や懸念が分かった。RRIの一環で、市民と対話を続けたい。 ・高校生が、一面的ではなく、多面的・多角的に考えようとしていること・	・他のグループの作品を閲覧させる。 ・当該スライドにカーソルを置き、右クリックでコメントを追加できることを指導する。 ・ペアで話し合わせる→学級全体で意見交換させる。 ・代表生徒はカメラの前へ。 ・分析結果に注目させる。 ・発言に注目させる。 ・発言に注目させる。	・閲覧やコメント入力を支援 ・AI アプリ活用⑤:自動音声収集 ファシリテータ端末を TSUNAGU に接続して、ブレイクアウトルームの音声を収集 ・指名された学級をスポットライト ・音声／映像状態のチェック ・AI アプリ活用⑤の結果表示 ・JAMSTEC をスポットライト ・出版社をスポットライト ・音声／映像状態のチェック ・最後はギャラリービューでお別れ挨拶

8. 事前学習課題

<参考資料リンク（別途調査・検索しても構いません） 7月17日指示

○ JAMSTEC（海洋研究開発機構）によるメディア報道

- ・「南鳥島 EEZ 海域でのレアアース泥採鉱システム接続試験の結果について」【[リンク](#)】
- ・「海底レアアース資源はどこにある？—レアアースの成因研究, 調査の歴史と課題—」【[リンク](#)】
- ・「南鳥島 EEZ 海域でのレアアース泥採鉱システム接続試験の実施について」（プレスリリース）【[リンク](#)】
- ・「SIP 海洋安全保障 プラットフォームの構築」【[リンク](#)】

○ 各種メディア

- ・中曽根平和研究所 (NPI) 「永久磁石の材料『レアアース』は安定調達できるのか？」【[リンク](#)】
- ・日経新聞「南鳥島沖レアアース泥, 技術・採算性検証 内閣府が引き揚げ成功発表」【[リンク](#)】
- ・nippon.com「南鳥島レアアースの採掘に成功: 中国依存の低減につながるか」【[リンク](#)】
- ・日本財団ジャーナル「南鳥島沖海底に眠る 2.3 億トンもの海底鉱物資源。そして「暗黒酸素」とは？」【[リンク](#)】
- ・笹川平和財団安全保障・日米グループ「南鳥島レアアース採掘の可能性と課題—日本の経済安全保障の強化に貢献できるか—」【[リンク](#)】
- ・住友金属鉱山株式会社「希土類元素（レアアース）」【[リンク](#)】
- ・独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構[JOGMEC]「レアアース泥で注目! 日本の海洋鉱物資源について解説」【[リンク](#)】
- ・独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構[JOGMEC]「海洋鉱物資源の概要: 金属」【[リンク](#)】
- ・独立行政法人経済産業研究所「2010 年レアアース輸出停滞等を振り返って中国を考える」【[リンク](#)】
- ・大和総研「中国によるレアアース・レアメタルの輸出規制は日本の実質 GDP を 1.3~3.2%下押し」【[リンク](#)】
- ・みずほ銀行「EXPRESS 中国レアアース輸出規制の日本経済への影響」【[リンク](#)】

○ 学術論文系

- ・山崎哲生 (2022) 「海底鉱物資源利用の現状と将来展望」日本 LCA 学会誌, 18 (4) 【[リンク](#)】
- ・戸堂康之 (2025) 「経済安全保障を踏まえたサプライチェーン・産業政策のあり方」国際経済, July 30 【[リンク](#)】
- ・正路徹也 (2024) 「2023-2024 年の資源探査」資源地質, 74 (2) 【[リンク](#)】
- ・小川智之ら (2024) 「希土類フリー α ”-Fe₁₆N₂ 磁石とその応用」日本 AEM 学会誌, 32 (3) 【[リンク](#)】

○ 経産省

- ・「マテリアル（重要鉱物・部素材）分野の課題と検討の方向性」【[リンク](#)】
- ・「鉱物資源を巡る状況について」【[リンク](#)】
- ・「成長戦略「マテリアル（重要鉱物・部素材）分野 ロードマップ（案）」【[リンク](#)】

○ 動画系

- ・日本経済新聞「豊富なレアアースは海底火山のたまもの, 南鳥島はどうできたのか?【絶海の孤島】」【[リンク](#)】
- ・MBS NEWS「“レアアース泥”回収成功の探査船海「ちきゅう」知られざる内部...船体には通天閣より高い海やぐら」が!? 研究室さながらの設備も」【[リンク](#)】
- ・TBS NEWS DIG「世界初! 「海底からレアアース泥」回収, 国産レアアース開発へ“大きな一歩”, 日本の最東端・南鳥島沖水深6000メートル」【[リンク](#)】
- ・日テレ NEWS「【高市首相】南鳥島沖レアアース資源の産業規模での実証始めるよう指示」【[リンク](#)】

<レポート課題> 8月10日締め切り

1. 参考資料を読んで「レアアース」についてわかったことをまとめよう。少なくとも3つ以上の資料をもとに考えてみよう。
2. あなたが、高校生は、もっとこういうことを「知っておくべきだ」「考えるべきだ」「議論したほうがよい」と考えたことを3つ以内で選び、理由も書こう。
3. あなたは教科書会社の編集者です。「レアアース」を教科書に載せる(記述を書き換える、図版を差し替える)ことを考えていると仮定します。
どの教科・科目の、どのページが候補として考えられますか? できれば2つ以上の異なる教科・科目で考えてみよう。
※地理歴史科の「地理」に限らず、いろいろな可能性を考えてみましょう。
①どの教科・科目、どのページ、②載せたいこと、③載せたい理由(なぜその教科?なぜそのページ?)の3枠で表に整理する。
4. 一番自信のある案を1つ選び、その教科書の見出しを考えてみよう。
5. 生成AIを使った人は、どのような目的でどのように使用したか自己申告をしてください。虚偽の申告をした場合は、履修証明書が交付されないことがあります。

<生徒用のポータルサイト>

DCC 高校総探ポータル「先端研究開発を考えるオンライン探究学習

ー海洋SIPチーム(海洋安全保障プラットフォームの構築)とのコラボレーション授業 最先端のレアアース採掘や深海調査などの研究開発の動向をもとに探究しよう!」【[リンク](#)】

※先生方へお願い: 必ずこちらの[リンク](#)を、生徒と共有しておいてください。全てのアクセス情報が、こちらのサイトに集約されています。

9. AIアプリ「TSUNAGU-Pro」の活用プロンプト

○ 活用①: 個人単位のワーク【自由記述・単語を書く】

高校生が、「レアアースについて、高校生は何を知るべきか・考えるべきか?ー教科書を書き足そう・書き換えようプロジェクトー」に取り組んでいます。
「ここまでの学習でコラムに載せたいことがあるか?」の問いに答えます。→結果をワードクラウドで表示

○ 活用②: 個人単位のワーク【自由記述・単語を書く】

高校生が、「レアアースについて、高校生は何を知るべきか・考えるべきか?ー教科書を書き足そう・書き換えようプロジェクトー」に取り組んでいます。
「ここまでの学習でコラムに載せたいことがあるか?」の問いに答えます。→結果をワードクラウドで表示

○ 活用③: 個人単位のワーク【選択】

教科書(コラム)には、何を基準に(何を優先して)載せるべきことを決めるべきか? あなたにとって最も優先度が高いもの、次の優先度が高いものを選びなさい。
A: 最新の科学的な知見を入れる, B: 国家・社会に対する教訓を入れる, C: 私たちにとっての論点・争点を入れる

○ 活用④: ブレイクアウトルーム単位のワーク【収音】

高校生が、「レアアースについて、高校生は何を知るべきか・考えるべきか?ー教科書を書き足そう・書き換えようプロジェクトー」に取り組んでいます。
教科・科目に分かれて教科書(コラム)の原案を作成しています。各グループに対して、一言アドバイスをお願いします。

○ 活用⑤: 学級単位のワーク【収音】

高校生が、「レアアースについて、高校生は何を知るべきか・考えるべきか?ー教科書を書き足そう・書き換えようプロジェクトー」に取り組んでいます。
最後に、この取組の振り返りを行っています。高校生の振り返りの中で、とくにキラリと光る本質的な振り返りを、選択理由とともに各学級1つずつ紹介してください。
紹介の最後に、当該の学校・学級名を記してください。